

やましたの「^{いっさつ}今月の逸冊」

僕が本を読む理由は、考え方・価値観を広げるため。自分の知識や知恵なんてちっぽけなものだ。広げるためには、ある程度情報のインプットが必要だ。それには本が一番投資対効果が高い。たかが1500円程度の投資で、10数倍の価値を得ることがある。それはお金だけではなく、これからの生き方として、人生の糧となる。だから僕は今日も本を読む。

一生お金に困らない生き方 / 心屋 仁之助 (著) ¥1,296-

-Amazonより内容紹介-

本書は、19年間会社員をやってきて、今はカウンセラーとして、自由と豊かさを得た著者がはじめて書いたお金の本。以前はお金に苦労したこともある著者が、ひよんなことから見つけた、「お金に困らなくなる方法」について書かれています。損をすれば、豊かさが返ってくる。お金も空気も愛情も、出せば回る。これが宇宙の法則です。お金をちゃんと使って、世の中にめぐらせる。自分が好きなものを使って、自分を喜ばせる。お金をケチらない。お金の流れを止めない…。気づいたら、頑張っていないのにお金がいっぱい入って、困らない人になっていた。そんな人になれるはずです。



◎その前提は正しいのか？！

僕がこの数年で学んだ大切なことの一つに「前提を疑う」というものがあります。僕は日本で人間として生まれて、育った環境から様々な影響を受けています。そしてその環境の基準で、いろんな判断をしています。ただ、よくよく考えると、その基準は本当に正しいのでしょうか？。だから、その基準（前提）を疑って、いろんな事を日々実験しています(*^_^*)

という前置きは置いて、この本で学べることは、「お金の前提を変えること」です。例えば、「お金があると安心」と考えがちですが、その前提を変えてみて「安心だからお金が入ってくる」と考え方に変えてみませんか？と仁（ジン）さんは言っています。

「お前なー」という声が聞こえてきますが（笑）、でもこの前提を変えることって、何か必要ですか？お金も、時間も何も必要ありません。ただ自分（前提）を変えるだけです。だったら、試してみてもいいのではないのでしょうか？

前提を壊すとは、「握りしめてきた過去の出来事を手放すこと。それは、過去の自分を許すこと。」と書かれています。前提を壊すイメージをすると、「過去の自分を否定する」と思いがちなので、今まで自分が正しいと思ってやってきた事を否定するのって、かなり勇気がいるので、ほとんどの人は出来ません。ただ、「過去の自分を許す」であれば、結構簡単じゃないのでしょうか？

日々我々は、成長しようと細胞が変化しています。細胞は変わっているのに、その人の考え方は全く変わっていない…。それもおかしな話です。だから、過去の自分はまだ若かったんだ！ということで、自分を許して、前提を改めて考えなおしてもよいと思います。

僕みたいな、過去に有名な大学を出たわけでもなく、過去の栄光は何もないので、すぐに捨てることができました(^_^) しかし、文章にすると語弊がありますが、逆の人は変わりにくい人が多いのは確かです。変わったほうが楽なのに・・・、といつも思います。

最後に、この本で「存在給」という定義があります。存在給とは、仕事を何もしなくても、ただ存在しているだけでもらえる給与のことです。この意識は非常に大事なな-と考えさせられました。詳しくはこの本に譲るとして、日々僕はお金の話を仕事にしていますが、リアルなお金も大事ですが、こういった「お金と心の付き合い方」の方が本当は大事だと思っています(^_^)v